

No.	15-5-9	場所	高森町市田（市田農協近く）	次世代への継承キーワード	情報伝達網整備
名称	大島川の氾濫で決壊した町道中央線と城岸橋			河川	大島川
災害現象	道路・橋梁の被災			支流	
補足事項					

諏訪市
岡谷市
辰野町
箕輪町
南箕輪村
伊那市
高遠町
長谷村
宮田村
駒ヶ根市
飯島町
中川村
大鹿村
松川町
高森町
豊丘村
喬木村
上村
飯田市
南信濃村
清内路村
阿智村
浪合村
平谷村
下條村
阿南町
売木村
天龍村

概要

高森町吉田地区では、大島川から押し出された土砂が出砂原集落を埋めた。巨岩を積み上げた長さ約 500mにわたる惣兵衛堤防は、200 年以上もこの地域を守ってきたが、竜の背のごとく盛り上がった天竜川は堤防を乗り越え、地上部のほとんどが押し流された。田沢川は鉄砲水により下流一帯が一面河原となり、11 名の犠牲者を出した。

●体験談：〇〇

二十七日午後になるとついに保育園、小学校の子供達をむかえに来る様にと有線によびかける。家でも父さんが末っ子の小学生のむかえに出かける。水防本部が役場に置かれ消防団員は出勤する。家でも長男は下市田支所の前の川があぶないと言うのでその方へ行く。

有線放送は、刻々に大島川があぶないからと避難命令をつたえて居る。

雨はますますひどくふり話ごえも聞えない位だ心配やら不安やらじっとして居られない様だ家の表も川の様になり雨水が流れて居る裏の小さな川もあふれて家の方へどんどん流れる田のあぜをこえて流れる水も手のほどこし様もない。

（「災害の市田郷」より）

記録



大島川の氾濫で欠潰した町道中央線と城岸橋。前方建物は市田農協

出典	「36 災害 20 周年記念 災害の記録」p.31/「災害の市田郷」p.73		
備考			

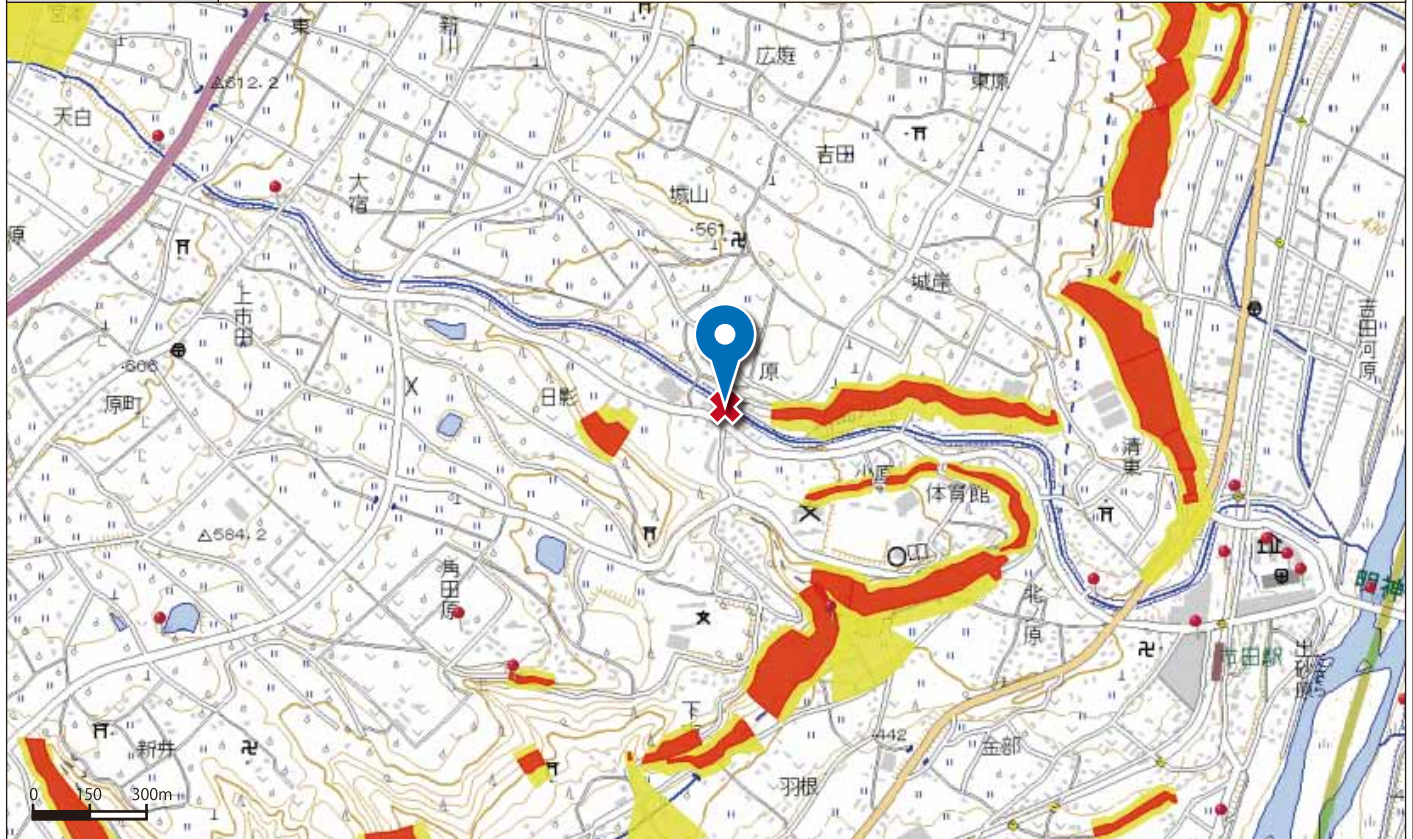
No.	15-5-9	場所	高森町市田（市田農協近く）	緯度	35.554500
-----	--------	----	---------------	----	-----------

名称	大島川の氾濫で決壊した町道中央線と城岸橋			経度	137.874266
----	----------------------	--	--	----	------------

地図 広域図



地図 詳細図



備考 上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通称：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。